

熱海ワイズメンズクラブ事業計画書

2026.7 ~ 2027.6



会長主題

『ワイズのない人生なんて』

No Y's No Life

副題

『帰属意識を持とう ！』

Have a sense of commitment !

熱海ワイズメンズクラブ事務所
〒413-0016 熱海市水口町15-15 2F
TEL 050-7502-2610 FAX 050-7502-2610

静岡YMCA熱海センター
〒413-0018 熱海市上宿町18-9
TEL 0557-85-0759

細田 泰秀 会長宅
〒413-0016 熱海市水口町20-16

目 次

ワイズメンズクラブ組織図	1
会 長 主 題	2
年 間 事 業 計 画 表	3~4
委 員 会 構 成 表	6
例 会 心 得	8
例 会 担 当 表	9

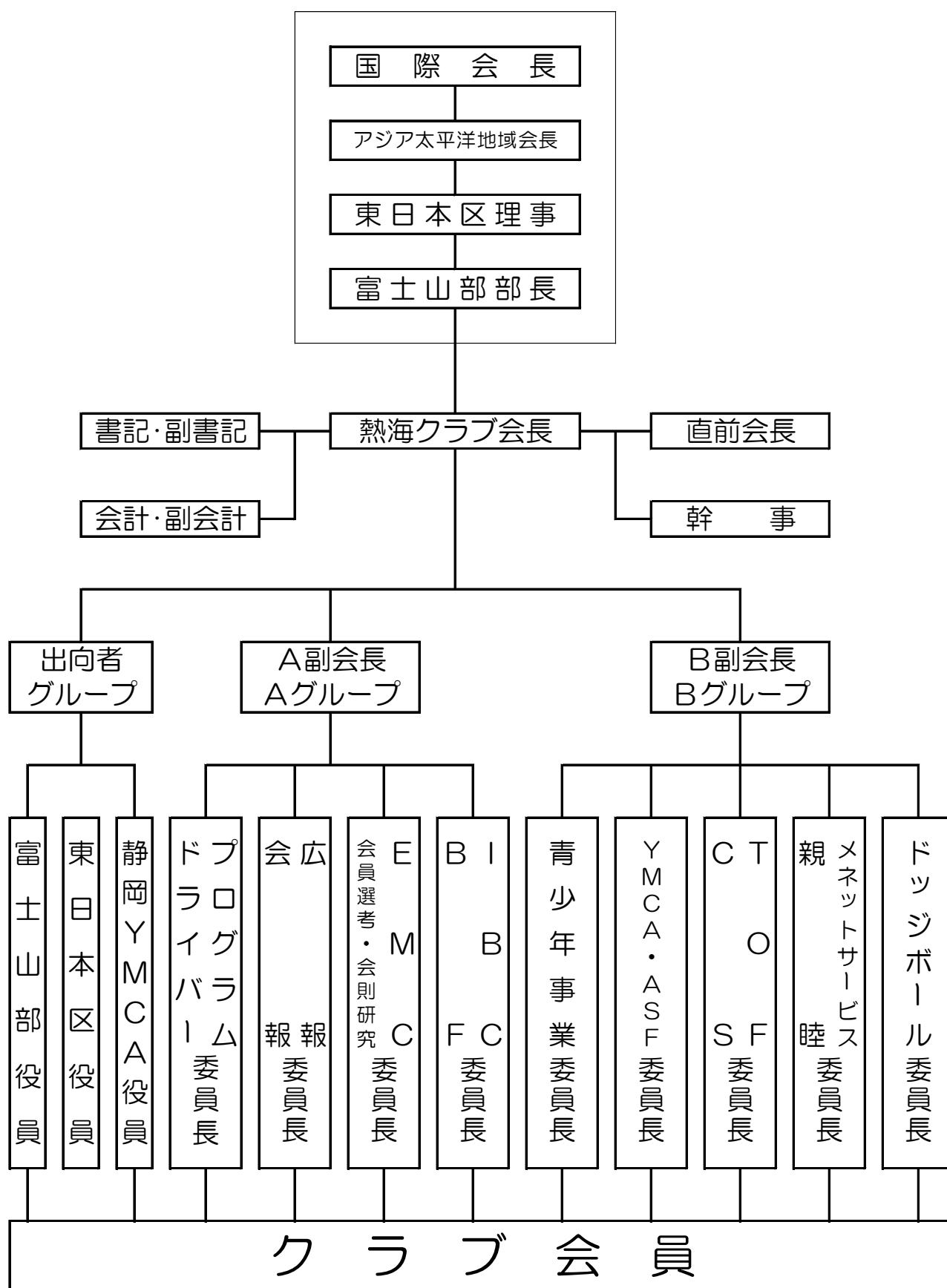
Aグループ 事業計画

プログラム・ドライバー委員会	10
広 報 ・ 会 報 委 員 会	11
EMC・会員選考・会則研究委員会	12
I B C ・ B F 委 員 会	13

Bグループ 事業計画

青 少 年 事 業 委 員 会	14
Y M C A ・ A S F 委 員 会	15
C S ・ T O F 委 員 会	16
親睦・メネットサービス委員会	17
ド ッ シ ボ ー ル 委 員 会	18

2026年度熱海ワイズメンズクラブ組織表



2026年7月 ～ 2027年6月

会長主題

『ワイズのない人生なんて』 *No Y's No Life*

副題

『帰属意識を持とう！』 *Have a sense of commitment !*

会長 細田 泰秀

会 長 方 針

私自身が最近、特に感じている想いを込めて主題としました。

新入会員のときは寄付とボランティアが大嫌いでした。そんな私でしたが熱海クラブの一員として日々活動していくうちに心境の変化が表れてきてボランティア活動も楽しく出来るようになりました。

会員の一人ひとりに様々なバックボーンがあり、100%ワイズの活動を行う事は不可能であり、また仕事を放り出してまでボランティア活動することは非現実的で意味のない事です。ただそんな中でも、ワイズの活動を真ん中において、より豊かな人生にしていく事はとても大事な事と感じています。熱海ワイズメンズクラブの一員として誇りを持ってもらうことで帰属意識を高めて友人知人を誘って会員増強に繋げていければ、さらに楽しくなると考えています。またIBCにも力を入れていき、最低でも1クラブは仲間のクラブを増やしたいと思います。

この1年間は私自身の全てをワイズ活動に捧げていく所存ですのでメンバーのご協力をお願いいたします。

《熱海ワイズメンズクラブの重点事項》

1. 青少年育成事業、YMCA事業、CS事業を強力に推進する。
1. 東日本区、富士山部の活動を積極的に支援する。
1. 報道機関を活用してワイズ活動のPRを強化する。
1. 事業へのメンバー全員参加を高める。
1. 魅力あるクラブ作りや会員増強の為、例会においてYY談義を実施する。
1. メンバー相互の信頼、友情と、親睦をより深めて結束する。
1. 家族が参加しやすい事業を検討し、実施する。
1. IBC、DBCとの積極的な交流を推進する。

熱海クラブ 年間行事・Aグループ月別計画表

月別	東日本区・富士山部・クラブ全般行事	A グ ル ー プ 委 員 会	
7月	新旧慰労激励会開催（9日・新かどや旅館） YMCA理事会（2日）（毎月第1木曜日） グローリークラブと合同記者会見（7/1） 2026年度初例会（27日・新かどや旅館・ホスト・熱海） 富士山部部長公式訪問 前年度会長・書記・会計へ感謝状贈呈 他クラブ初例会（富士・富士宮8日）（伊東・下田13日） （沼津・三島・御殿場21日） キャンプ説明会・YMCAセンター（12日（日）13時） 静岡YMCAサマーキャンプ（29日～30日 1泊2日）	プログラム 毎月例会プログラム作成 ドライバー 毎月例会場の設営 ドライバー 出席奨励・毎月例会出席を取る ドライバー 東日本区大会（札幌）積立受付 広報 新聞記者会見 ホスト：熱海クラブ 会報 毎月会報を発行	
8月	移動例会（23日・今宮神社・BBQ例会） 知人・友人同伴キャンペーン（随時） 第1回富士山部役員会・評議会（8日 土曜日）	ドライバー 富士山部交流会への登録準備 ドライバー 移動納涼例会 会員選考 新会員推薦依頼（入会式は随時）	
9月	臨時総会（前年度事業報告・決算報告） ユースボランティアリーダーズフォーラム（4日～6日） 国際大会（マレーシア 10日～13日）		
10月	移動例会（YMCAセンター 26日） 神田川船の会（東京グリーン）（10日）	会員選考 YY談義開催	
11月	ワイズデー（10日） 第19回熱海ワイズ会長杯ドッジボール大会（7日） 静岡YMCA中学生英語スピーチコンテスト（7日） 11月例会・新かどや旅館（23日）	IBC クリスマスカードメール発信準備 ドライバー 移動例会（静岡YMCAセンター）	
12月	クリスマス例会・家族会（20日・サンミ倶楽部） 各委員会 前期表彰月	広報 新年年賀広告準備 IBC プラザークラブへクリスマスカード発送 ドライバー 前年度年間及び連続皆出席者発表	
1月	臨時総会（次期会長発表、A副会長・書記・会計指名） 新年初顔合わせ会（予定） スキー教室説明会・YMCAセンター（24日13時） 1月例会・サンミクラブ（25日）	BF 切手・現金の収集強化月間	
2月	静岡YMCAスキー・ボード教室（6日～7日） 2月例会・サンミクラブ・臨時総会（次期役員指名） 富士山部評議会、交流会（日時と場所は未定）	献金 各種献金納期（期限：2月15日）	
3月	東日本区次期会長研修会（14日～15日） 移動例会・次期委員会所属発表（22日・YMCAセンター）	ドライバー 東日本区大会登録 会員選考 YY談義開催 ドライバー 移動例会（静岡YMCAセンター）	
4月	次期合同六役会 次期事業計画案・予算案作成 W4W 4月例会・サンミクラブ（26日）		
5月	第3回富士山部役員会・評議会（日時と場所は未定） 富士山部次期クラブ役員研修会（日時と場所は未定） 5月例会・サンミクラブ（24日）	ドライバー 東日本区大会準備	
6月	第30回東日本区大会（5日・札幌） 最終例会・定時総会（28日・サンミ倶楽部） 各委員会後期 表彰月	ドライバー 第30回東日本区大会	

熱海クラブ Bグループ月別計画書・事業概略

月別	B グ ル ー プ 委 員 会		A・Bグループ各委員会事業概略	
7月	YMCA 親睦 青少年	隔月YMCA理事会に出席 毎月スマイル委員会開催・二次会設定 新旧慰労激励会開催（9日） 静岡YMCAサマーキャンプ（29～30日）	プログラム ドライバー	Aグループ 初例会設営・毎月プログラムの作成 卓話者の選定・交渉 出席奨励 例会通知発送 例会場の設営 区・部・他クラブの出席要請
8月	ASF	前年度クラブアワード集計・発表	広報	合同記者会見 新年年賀広告 報道機関への働きかけ
9月	ドッグボール	市内小学校に通知	会報 EMC 会員選考	原稿収集・校正・発行毎月委員会開催 YY談義開催 年3回以上を予定 会員増強
10月	ドッグボール	全体会（審判講習・組み合わせ）	会則研究 IBC	インフォメーション・入会式 会則・諸規定の研究・検討 IBC・DBCの積み立て ブラザークラブへクリスマスカードメール発信 ブラザークラブへブリテンメール発信 IBC・DBC各クラブ訪問・受入
11月	CS ドッグボール YMCA	赤い羽根共同募金に協力 第19回会長杯ドッジボール大会（7日） 静岡YMCA中学生英語スピーチコンテスト（7日）	BF	現金を区へ発送
12月	CS 親睦	市民安全運動に参加 クリスマス例会・家族会（20日・サンミ）		Bグループ
1月	ASF CS 親睦	クラブアワード中間集計 お年玉当選年賀はがき収集 年賀はがきコンテスト 新年初顔合わせ会（予定） スキー教室説明会・YMCAセンター（24日）	青少年 YMCA	熱海YMCAサマーキャンプ（7/29・30） // スキー・ボード教室（2/6・7） スピーチコンテスト（11/7） YMCA基金の依頼
2月	青少年 CS ASF	静岡YMCAスキー・ボード教室（6～7日） CS献金を区・部へ送金（期限：2月15日） TOF：区に送金（期限：2月15日） ASF献金を区へ送金（期限：2月15日）	ASF CS	クラブアワード表彰 赤い羽根共同募金に協力 市民安全運動 お年玉当選年賀はがき収集・送付 CS基金を区・部へ送金 年賀はがきコンテスト W4Wの実施
3月	CS	お年玉当選年賀はがき送付（期限：3月15日）	親睦	スマイル情報収集・発表 慰労・激励会・新入会員歓迎会 クリスマス家族会プログラム作成等準備 新年初顔合わせ会（予定） 家族親睦会・親睦イベント
4月	CS CS	全国緑化運動に協力 W4W	メネット	初例会・最終例会出席協力 メネット親睦会
5月			ドッグボール	第19回会長杯ドッジボール大会（11/7）
6月	ASF	クラブアワード最終集計	臨時	上記事業に対する委員会開催 委員会相互の協力

2026年(細田年度)委員会構成表

会	長	細田 泰秀	副 会 計	栗本 治郎	幹	事	村上 達也
書	記	中山 幸男	A 副 会 長	矢崎 至宏	幹	事	日下 智博
会	計	大楠 泰治	B 副 会 長	鈴木 恵次			
副	書 記	大川 貴久	直 前 会 長	松永 正考			

	委 員 会	委 員 長 名	副委員長名	委 員 名
A グ ル ー プ	プログラム ドライバー	渡邊慎太郎	小石川富美江	鶴澤友美 大木一郎 小山太一 山田景照
	広報・会報	小原進一	後藤南海子	栢本梨菜 後藤軍治 泉明寺みずほ 森重男
	EMC選考 会 則 研 究	河村 昌彦	小木田なみ	松田絹世
	I B C ・ B F	下田圭一郎	札埜 慶一	小松巖
B グ ル ー プ	青少年事業	山崎英史	青木義美	鈴木悦子 菅原英徳 照木裕 室伏勲
	YMCA A S F	深澤勇弘	三井敏正	
	CS・TOF	古屋秀雄	橋本一実	小林秀樹 齊藤栄 蛭田泰造
	親睦メネット サ ー ビ ス	池田直文	後藤 武彦	石川安奈 田島潤一 手塚裕子 野田進
	ドッジボール	松永正考	日下智博	全 会 員
東日本区地域奉仕・Yサ事業主任 深澤 勇弘				静岡YMCA副理事長 青木 義美 静岡YMCA会計 小原 進一 静岡YMCA副会計 日下 智博 静岡YMCA理事 栗本 治郎 静岡YMCA運営委員 泉明寺 みずほ 静岡YMCA運営委員 森 重男

例 会 心 得

- ホーム例会場は、『サンミ倶楽部』です。
- ホーム例会は毎月第四月曜日です。
- 受付時間（18:00～18:25）の定刻には必ず入場し着席して下さい。
- 国際バッジ、ランチョンバッジを必ず着用して下さい。
- 各種役割の担当者は責任を持って、自己の担当業務を行って下さい。
- プログラム進行中は私語、雑談などをしないようにして下さい。
- 楽しく、そして規律ある例会づくりに全員が協力して下さい。

ワ イ ズ メ ン の 信 条

- 1. 自分を愛するように隣人を愛そう。
- 1. 青少年のためにYMCAにつくそう。
- 1. 世界的視野を持って国際親善をはかろう。
- 1. 義務を果たしてこそ権利が生ずることをさたろう。
- 1. 会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう。

通常例会プログラム

- 1. 点 鐘
- 1. 開会の挨拶
- 1. 国歌斉唱
- 1. ワイズソング
- 1. ワイズの信条
- 1. 会長挨拶
- 1. ゲスト・ビジター紹介
- 1. 書記報告
- 1. 食前の言葉
- 1. 会 食
- 1. 委員会報告
- 1. 誕生日・結婚記念日祝
- 1. スマイル
- 1. 卓 話
- 1. メンバースピーチタイム
- 1. 出席・スマイル・基金報告
- 1. 閉会の言葉
- 1. 点 鐘

〔ワイズソング〕

- いざたて
- 1. いざたて 心あつくし
手を挙げ 誓い新たに
われらの モットー守る
ふさわしい その名 ワイズメン
たえせず 目あてのぞみ
この身を 捧げつくさん
- 2. 歌えば 心ひとつに
友がき ひろがりゆきて
遠きも 近きも みな
ささげて たつや ワイズメン
さかえと ほまれゆたか
まことは 胸にあふれん

例 会 担 当 表

(2026.7~2027.6)

	受付 及び 会場委員		司 会	開会の挨拶	ワイズの信条	食前の言葉	閉会の言葉
7月	小原 進一	小石川 富美江	泉明寺 みずほ	池田 直文	札埜 慶一	三井 敏正	矢崎 至宏
8月	小山 太一	後藤 南海子	小林 秀樹	河村 昌彦	栢本 梨菜	小松 巖	鈴木 恵次
9月	大木 一郎	松田 絹代	下田 圭一郎	山崎 英史	鈴木 悦子	青木 義美	矢崎 至宏
10月	鵜澤 友美	深澤 勇弘	橋本 一実	小原 進一	菅原 英徳	室伏 勲	鈴木 恵次
11月	古屋 秀雄	手塚 裕子	照木 裕	大木 一郎	蛭田 泰造	後藤 武彦	矢崎 至宏
12月	野田 進	小石川 富美江	小木田 なみ	小山 太一	田島 潤一	池田 直文	鈴木 恵次
1月	小原 進一	石川 安奈	蛭田 泰造	三井 敏正	山田 景照	野田 進	矢崎 至宏
2月	栢本 梨菜	後藤 軍治	河村 昌彦	橋本 一実	松田 絹代	小原 進一	鈴木 恵次
3月	鈴木 悦子	下田 圭一郎	古屋 秀雄	菅原 英徳	鵜澤 友美	札埜 慶一	矢崎 至宏
4月	小木田 なみ	室伏 勲	山崎 英史	泉明寺 みずほ	手塚 裕子	蛭田 泰造	鈴木 恵次
5月	三井 敏正	田島 潤一	野田 進	小松 巖	石川 安奈	照木 裕	矢崎 至宏
6月	橋本 一実	小石川 富美江	深澤 勇弘	青木 義美	小林 秀樹	後藤 南海子	鈴木 恵次

プログラム・ドライバー 委員会事業計画

担当副会長 矢崎 至宏

(委員はアイウエオ順)

委員長 渡邊 慎太郎

委員	鵜澤	友美
委員	大木	一郎
委員	小山	太一
委員	山田	景照

副委員長 小石川 富美江

1.委員会方針

- ・出席率100%を目標とし、毎月の例会出席とメーキャップを全てのメンバーに奨励する。
- ・厳粛な中にもメンバー間の交流を強化する事。
- ・タイムスケジュールを意識した例会となる様活動する。

2.事業計画

- 1) 例会出席を重視し、連絡を密にする
- 2) 例会欠席者にメーキャップを促し、訪問クラブに確認する
- 3) 東日本区大会の為に積み立て及び準備
- 4) 移動例会の実施
- 5) 例会報告を書記及び会報委員会に提出する
- 6) メンバーに卓話者の推薦を依頼する

3.予算

4.月別行事

- | | |
|-----|---------------------------|
| 毎月 | プログラムの作成。例会場の設営 |
| 7月 | グローリークラブと合同初例会（熱海クラブ担当予定） |
| 9月 | 皆出席者表彰準備 |
| 12月 | 皆出席発表（Xmas家族会） |
| 1月 | |
| 3月 | TOF移動例会（YMCAセンター） |
| 3月 | 東日本区大会登録準備 |
| 5月 | 移動例会（YMCAセンター） |
| 随時 | 移動例会を2回開催（3月例会含む） |
| 随時 | 卓話者検討 入会式準備 |
| 随時 | 卓話年間6回開催予定 |

広報・会報 委員会事業計画

担当副会長 矢崎 至宏

委員長 小原 進一

副委員長 後藤 南海子

(委員はアイウエオ順)

委員 栢本 梨菜
後藤 軍治
泉明寺 みずほ
森 重男

1.委員会方針

会長方針副題の「帰属意識を持とう！」を目標として活動していきます。

- ・メンバー及びメネットが楽しめて、絆の深まるような情報提供を図ります。
- ・新入会員が増えましたので、投稿する機会を増やしてワイズ活動への関心を持ってもらうようにします。
- ・クラブ内の事業・活動の情報を広く地域に伝えて、理解を深めてひいてはメンバー獲得への一助となるように努めます。

2.事業計画

広報

- 1) グローリークラブとの合同記者会見を開催する。
(本年度は、熱海クラブ担当)
- 2) クラブホームページ、フェイスブック、東日本区ホームページ等に例会日・事業開催および報告等の案内等をタイムリーに掲載する。
- 3) 報道関係各社に例会日・事業開催および報告等の案内並びにPRを依頼する
- 4) 年賀広告の企画をする。

会報

- 1) 毎月会報を発行する。
- 2) 委員会は出来るだけ多く開催し、メンバーが集まる機会を増やす。
- 3) 東日本区および富士山部に会報を毎月発送する。また、ワイズドットコムでメールで東西日本区に発信する。

3.予算

4.月別行事

- | | |
|-----|-------------------------------------|
| 毎月 | 会報発行 |
| 7月 | 熱海グローリークラブとの合同記者会見
(本年度、熱海クラブ担当) |
| 12月 | 年賀広告企画 |
| 1月 | 年賀広告を地元紙に掲載。 |

EMC・会員選考・会則研究 委員会事業計画

担当副会長 矢崎 至宏

委員長 河村 昌彦

副委員長 小木田 なみ

(委員はアイウエオ順)
委員 松田 絹世

1.委員会方針

- ・会員増強に向け会員各位に新会員推薦をお願いする。
- ・会則および諸規定の見直しをする。

2.事業計画

- 1) 新会員獲得目標を10名とする。
- 2) インビテーションに積極的に取り組む。
- 3) YY談議を2回以上開催する。(会員以外でも参加可能にする)
- 4) 会則および諸規定を研究・検討する。

3.予算

4.月別行事

- 8月 第1回新会員募集・推薦依頼の推進。
10月 YY談議開催。
1月 第2回新会員募集・推薦依頼の推進。
(募集時期に関わらず推薦を受け付ける)
3月 YY談議開催。
その他 酒席を伴う委員会を開催する

IBC・BF 委員会事業計画

担当副会長 矢崎 至宏

委員長 下田 圭一郎

副委員長 札埜 慶一

(委員はアイウエオ順)

委員 小松 巖

1.委員会方針

- ・ブラザークラブとの交流を活発に行う。
多くのメンバー・メネットが楽しいワイズライフを過ごせるように
魅力ある訪問計画を立案・実施する。

2.事業計画

- 1) ブラザークラブへブリテンの発送(隔月)
- 2) クリスマスカードの発送
- 3) 訪問計画を立案・実施

3.予算

4.月別行事

11月 ブラザークラブへのクリスマスカードの作成
12月 ブラザークラブへクリスマスカードの発送

未定 インドまたは韓国 訪問計画

☆ 隔月ブラザークラブにブリテンを発送

青少年事業 委員会事業計画

担当副会長 鈴木 恵次

委員長 山崎 英史

副委員長 青木 義美

(委員はアイウエオ順)

委	員	菅原	英徳
		鈴木	悦子
		照木	裕
		室伏	勲

1.委員会方針

子供たちを自然にふれあい

自然を大切に思う気持ち、行動を育成する。

2.事業計画

- ・夏のサマーキャンプ
- ・冬のスキー・スノーボード教室

3.予算

4.月別行事

7月 キャンプ説明会 YMCAセンター (7月12日(日) 13時)

中伊豆またね自然学校 キャンプ 7月29日～30日

1月 スキー・スノーボード教室説明会(24日)

2月 白樺湖ロイヤルヒルスキー場 スキー・スノーボード教室
2月6日～7日

YMCA・ASF 委員会事業計画

担当副会長 矢崎 至宏

委員長 深澤 勇弘

副委員長 三井 敏正

1.委員会方針

会長方針である、「ワイズのない人生なんて」をモットーにワイズ活動を通じメンバー相互の信頼と友情・親睦を深め、メネットにも協力を仰ぎ結束を図る。また、毎月一人委員会に成らぬ様、全委員会及び六役に声をかけ委員会が活発に活動出来る様にする。

2.事業計画

- 1) 毎月の例会時にてYMCA基金を募る。
- 2) YMCA理事会に出席し、状況報告をする。
- 3) YMCA維持会員の募集に協力する。
- 4) クラブアワードの表彰を行い、ASF代表者を決定する。
- 5) 第38回中学生スピーチコンテストのサポートを行う。
- 6) 静岡YMCA関連の事業のサポートをする。

3.予算

4.月別行事

- 8月 前年度クラブアワードの集計・発表。
- 11月 第38回中学生英語スピーチコンテストのサポート。
- 1月 クラブアワード表彰・中間発表。
- 6月 クラブアワード最終集計。
- 毎月 YMCA基金を募り集計を行う。

CS・TOF 委員会事業計画

担当副会長 鈴木 恵次

委員長 古屋 秀雄

副委員長 橋本 一実

(委員はアイウエオ順)

委	員	齊藤	栄
委	員	小林	秀樹
委	員	蛭田	泰造

1.委員会方針

- 1 地域社会の奉仕活動や、青少年育成事業に参加・活動し、クラブの発展・認知度を上げる。
- 2 TOF事業への協力。
- 3 W4Wとしてサンビーチの清掃を行う。

2.事業計画

- 1) 東日本区・富士山部のCS事業に協力する。
- 2) 地域奉仕事業等に積極的に協力する。
- 3) 各種支援事業へ協力する。
- 4) 年賀はがきコンテストを開催する。

3.予算

4.月別行事

- 11月 赤い羽根共同募金に協力。
- 12月 年賀はがきコンテスト準備。
熱海市市民安全大会に参加。
- 1～2月 お年玉年賀はがき当選切手シートの収集
年賀はがきコンテストの開催。
- 2月 TOFに協力。区・部への献金。(2月15日まで)
- 3月 お年玉年賀はがき当選切手シートを送付。(3月15日まで)
- 4月 全国緑化運動に参加。

親睦・メネットサービス 委員会事業計画

担当副会長 鈴木 恵次

委員長 池田 直文

副委員長 後藤 武彦

(委員はアイウエオ順)

委員	石川	安奈
委員	田島	潤一
委員	手塚	裕子
委員	野田	進

1.委員会方針

会長方針である『ワイズの無い人生なんて』をメンバーの皆様に実感していただけるような楽しい事業を企画し実行してまいります。
委員会も、楽しく開催してまいります。

2.事業計画

- 1) 毎月委員会を開催し、スマイル情報を収集、例会で発表する。
尚、上限は一人3,000円とする。(希望者はその限りではない)
- 2) 新旧慰労激励会を開催する。
- 3) 新入会員歓迎会を開催する。
- 4) 毎月例会後の二次会を設定し、更なる親睦を深め結束を図る。
(バーベキュー例会、クリスマス家族会を除く)
- 5) クリスマス家族会を開催し、メンバー、家族間の絆を深め結束を図る。
- 6) 新年初顔合わせ会を開催し、メンバー相互の信頼と親睦を深める。
- 7) メンバー・メネット・コメットが楽しめる様な事業を計画して実施する。
- 8) メネット・コメットに各事業への参加協力を要請する。

3.予算

4.月別行事

- 7月 新旧慰労激励会開催。(7月9日(木)新かどや旅館)
- 8月 家族BBQ例会を開催。(8月23日(日)今宮神社駐車場を予定)
- 10月 IBC委員会と協力して神田川船の会に参加。(東京グリーンクラブ主催)
- 12月 クリスマス家族会を開催。(12/20(日)サンミ倶楽部を予定)
- 1月 新年初顔合わせ会を開催。
- 6月 東日本区大会で、ドライバー委員会と協力して盛り上げる。
※適当な時期に小旅行(日帰り)を企画する。

ドッジボール 委員会事業計画

担当副会長 鈴木 恵次

委員長 松永 正考

委 員 全 会 員

副委員長 日下 智博

1.委員会方針

第19回ドッジボール大会の開催を迎え、各小学校に定着してきました。青少年育成事業の一環であるこの大会は会場設営、審判、安全、運営等で全会員・メネットの御協力を必要とし、円滑に運営する為に役員会、委員会、例会等を通じ行なって参りますので、皆様のご協力をお願い致します。

2.事業計画

- 1) 市内各小学校に開催通知及び実施要項、申込書の配布
- 2) 全体会を開催し、役割分担、広報PRなど会員意識向上を計る
- 3) 審判（主審）はドッジボール協会に依頼し、ルール共有の為に審判講習会を開く。（副審は熱海クラブ）
- 4) 会場関係者（マリンホール）並びにPTAの協力を仰ぎ大会を開催する。
- 5) 食事を提供。

3.予算

4.月別行事

- 9月 市内各学校に開催通知依頼、申込書の配布。
- 10月 全体会（役割分担、組合せ等、ルール審判講習会開催）
- 11月 第19回熱海会長杯ドッジボール大会（7日土曜日）